



コミュニティスクールでの提案 短期PDCA



【ありがとう1日10回運動】(児童の取組) 振り返り用紙

- ①実施した結果：学級や個人が良い方向へ変容（実感で○をつけてください）
A：効果あり3人 B：やや効果あり11人 C：あまり効果がない5人
- ②達成率（シールの数が10個以上の児童数：7月は13日しかないので）
A：全員0人 B：半分以上13人 C：半分以下5人
- ③変更した方が良いと思われる点や考察。
ア：金のシールは1年の先生方が作成してお花のシートに貼りました。頑張りノートだと次の冊数に進む子もいるので専用のシートがあるといい。
 （A：無理なくできるような準備がいらぬ方法で進めていました。検討します）
イ：自己申告だとシール欲しさに嘘をつく子がいた。
 （A：活動の趣旨を機会を捉えて繰り返し説明してあげてください）
ウ：達成率は調べていないので予想です。すいません。
 （A：1番近くにいる先生の予想なのであっていると思います）
エ：ありがとうを言われたことも意識させたい。
 （A：最終的には『ありがとうを言われる行動ができる』に持っていきたいです。）
オ：1か月レベルではまだ成果らしいものは感じられません。
 （A：ほほえましい場面が少しでも見られるといいです）
カ：理科室内で自然に「ありがとう」という言葉が出て、それを聞いている周りの子にも良い影響があった。
 （A：そういうシーンが増えてくることを期待した運動です）

【2日で全員！応援・声かけ運動】(教師の取組) 振り返り用紙

- ①実施した結果：学級や個人が良い方向へ変容（実感で○をつけてください）
A：効果あり2人 B：やや効果あり11人 C：あまり効果がない4人
- ③考察
ア：2日では短いので、5日ではどうでしょうか。
 （A：2日をとります。「1週間で全員」とします）
イ：1か月レベルではまだ変化の実感はまだないです。
 （A：声かけや何らかのアクションを教師が起こしてくれているので児童は嬉しいと思います。変化がみられることを信じて声をかけてください）



【今後の方針】

「成果」を求めると竜頭蛇尾になるので、9月の振り返りでは③を「考察」とせず「ほほえましい場面が見られましたか」に変更します。回答された心がほっこりするエピソードを児童会などから紹介してもらい長く続けていける運動にしていきます。先生方から評価してもらえると子供は乗ってくるので「ありがとう」を伝えている場面を見たときやシールを与えるときには「すごいね」と誉めてあげてください。そうすると「全員声かけ」にもなるし、一石二鳥です。

10月のCSで現状を報告しますので、9月末にも振り返りを実施します。よろしくお願ひします。

【2学期からのやり方】もう一度趣意説明からお願いします。

- ①自己申告制
- ②専用シートをプリント綴りや音読カードに貼る（希望学年のみ）
- ③金シールを10個ためると大きいシールが1つもらえる（1・2年生のみ）
- ④ありがとうを言っている場面を見たら評価してあげる
- ⑤教師の取組の名称を「1週間で全員！応援・声かけ運動」に変更する

※専用シートの要望がある学年は作成します。

※3年生以上で金シール10個ためるとご褒美的なものがあるといいを要望する学年は「ワンピーススタンプを押す」にします。